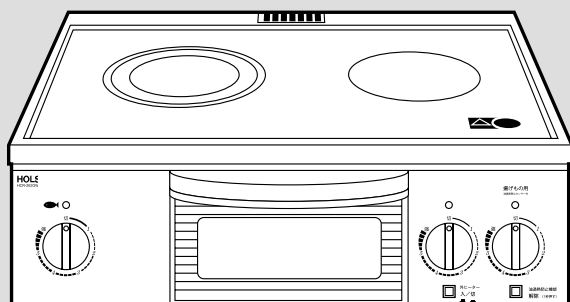


ハイグラストップ取扱説明書

(家庭用) 業務用としてはお使いにならないでください。

ー据置タイプー

形名 **SRH-M226AT**



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	7
上手にお使いいただくために	8
ヒーターの使いかた (共通の事項)	9
左ヒーターの使いかた	10
右ヒーターの使いかた	11
揚げもの調理のしかた	13
ロースターの使いかた	16
お手入れのしかた	17
こんなときは (修理を依頼される前に)	18
保証とアフターサービス	19
仕 様	19
保証書	裏表紙

- このたびは**SANKI**のハイグラストップをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのハイグラストップを正しく使っていただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになったあとは必ず保存してください。
- 保証書は、本紙の裏表紙にあります。「お買い上げ日、お買い求め先名」などの記入を確かめて、よくお読みの後保管してください。
- 設置工事説明書を販売店または工事店から必ず受けとってください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。

つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明



警告

“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{※1}を負うことが想定されること”を示します。



注意

“取扱いを誤った場合、使用者が傷害^{※2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{※3}の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明



⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。



●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

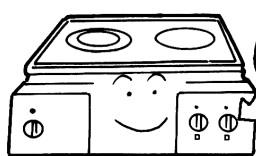


警告

使用中・使用後

使わないときは必ず火力調節つまみを「切」にしておく

万一の通電で、火災の原因になることがあります。長期不在のときは、専用回路のブレーカーを切ってください。



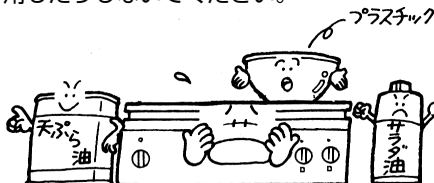
スイッチ切!



スイッチを切る

周辺に可燃物を置いたり、可燃性ガスを近くで使用しない

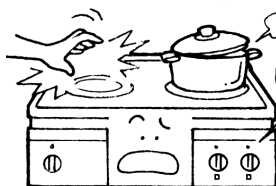
引火して発火することがあります。ふきん、ペーパー、カーテン、スプレー缶、ベンジンなどを置いたり、使用したりしないでください。



使用禁止

調理中、または高温注意ランプが点灯中はトッププレート、その周辺の金属部に触れない

高温注意ランプが消灯した直後でも、ヒーター部に触り続けるとやけどをします。



調理中や調理後は要注意!



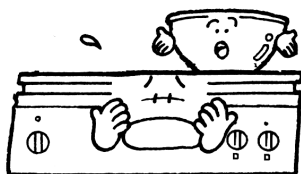
接触禁止

⚠ 警告

使用中・使用後

ヒーターの上に、可燃物を置かない

火災の恐れがあります。ヒーター上や器具の周囲に紙きれ・ふきんなどの燃えやすいものは絶対に置かない。誤ってスイッチが入った場合、火災の原因となります。



禁止

ロースターを使用中、使用直後はロースターハンドル以外には触れない

ロースターを使用中、使用直後はロースターガラスや周辺部は高温になっていますので、やけどの恐れがあります。

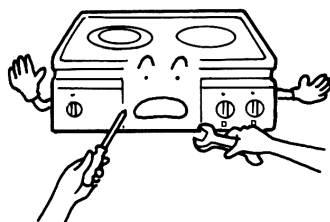


接触禁止

取り扱い

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行なわない

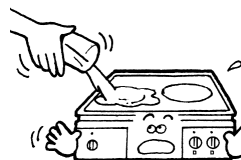
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

使用中やお手入れのとき、トッププレートやロースター排気口に水をかけない

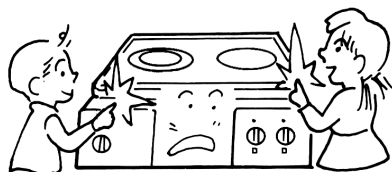
漏電やショートをおこし、感電や火災の原因になります。トッププレートとカウンター(調理台)の間に水がこぼれたときも、すぐにふきとってください。



水ぬれ禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをすることがあります。



使用禁止

お手入れの際、ベンジン、アルコール、シンナーなどは絶対に使わない

揮発性の油は引火して発火することがあり、大変危険です。



禁止

トッププレートの上で直接調理しない

トッププレートを傷める原因になります。

※油や汁がたれ落ちる焼き網などでの調理もしないでください。



禁止

長期間で使用にならないときは専用回路のブレーカーを切る

万一の通電で、火災の原因になることがあります。



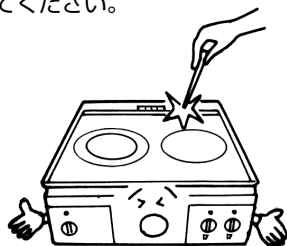
ブレーカーを切る

⚠ 警告

取り扱い

ロースター排気口に指や物を入れない

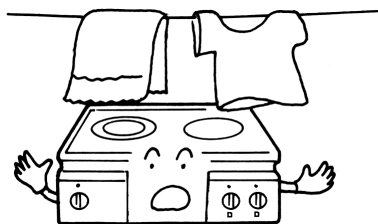
けがや故障の原因になります。また、箸などを中に落としてしまうと、取り出せなくなることがありますので注意してください。



必ず守る

調理以外のことに使わない

このハイグラストップを暖房や洗濯物などの乾燥や炭火おこしなどの目的に使わないでください。火災や故障の原因になります。



禁止

油調理中

天ぷらなど油を使う調理中はその場を離れない

火災の恐れがあります。その場を離れるときは必ず火力調節つまみを「切」にして、鍋などをヒーターからおろす。油が過熱すると火が入らなくても自然に発火し、火災の原因となります。



禁止

揚げ物調理は必ず右ヒーターを使い付属の天ぷら鍋を使用し、油の量は1kg使用する

油の量が少量の場合や付属の天ぷら鍋を使用しない場合は、正確な油の温度が検出できず、発火して火災の原因になります。



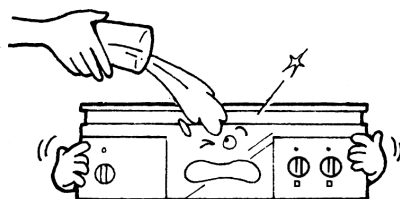
油の量は
1kg

⚠ 注意

使用中・使用後

ロースター使用中に、ガラス窓に水をかけない また、ロースター皿にアルミホイルを敷いて使用しない

ガラスが割れ、けがの原因となります。また、器具周辺のカウンタ(調理台)にこぼれたときも、すぐにふきとってください。



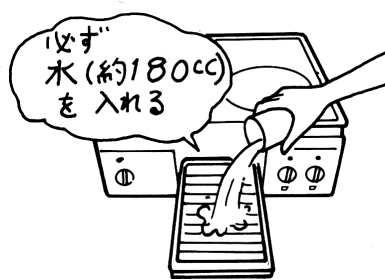
水ぬれ禁止

⚠注意

使用中・使用後

ロースターは必ずロースター皿に水を入れて使用する
また、必要以上の空焼きを絶対にしないこと

ガラスが割れ、けがの原因となります。



水を入れる

鍋の空焚きは絶対にしない

- 水をいれない調理や水分がでない調理は空焼と同じ状態になり、通電が停止することがあります。
- ホーロー鍋の場合は、ホーロー部分が溶け、トッププレートに固着する場合があります。

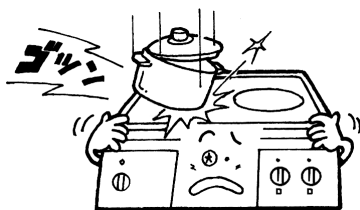


禁止

取り扱い

トッププレートに固い物をぶつかけたり、上にのったりしない

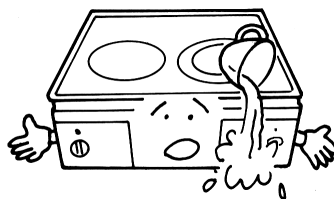
トッププレートにひびが入り電気部品が露出し、感電の原因になります。万一、ひびが入ったときは専用ブレーカーを切って販売店または当社にご相談ください。



禁止

操作部には、煮汁や水をこぼさない

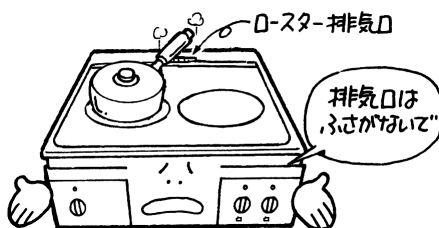
電気部品に水が侵入し、漏電や感電の原因になります。



水ぬれ禁止

排気口をふさいだり、排気口付近に手、顔、鍋の取手を近づけない

過熱して火災の原因になったり、やけどの原因になります。



禁止

⚠注意

取り扱い

缶やアルミ箔など、なべ以外のものを加熱しない
なべの下に紙などを敷かない

破裂したり赤熱して、けが・やけどの原因になります。
また、なべの熱で紙がこげたりします。



禁止

なべを不安定な状態で使用しない

トッププレートのふちに乗り上げていると、落下などにより、けが・やけどの原因になります。



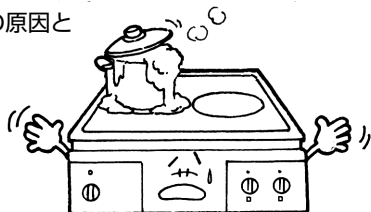
禁止

お願い

使用中・使用後

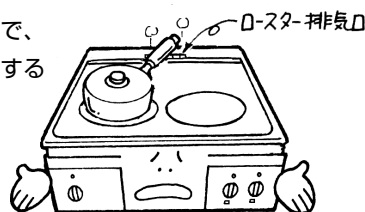
煮こぼれをさせないこと

トッププレート表面に煮こぼれが付着してはがれなくなったり、故障の原因となります。



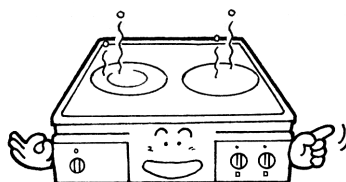
鍋の取っ手をロースター排気口へ向けない

ロースターの排熱で、鍋の取っ手の変形することがあります。



トッププレートに付着した煮こぼしなどは常にふきとる

煮こぼしのこげつきなどにより、ヒーターの赤熱部が遮られると、加熱効率が極端に悪くなります。

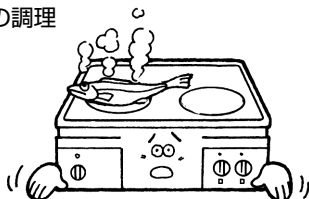


取り扱い

次のような使い方をしないこと

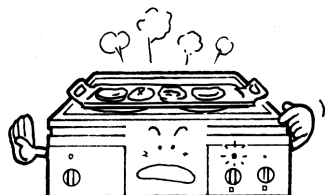
故障の原因となります。

- トッププレート上に直接食品を置く調理
- ごとくを使つての調理
- 鉄板や焼網を使つての調理
- トッププレート上に付属のロースター皿を置いての調理



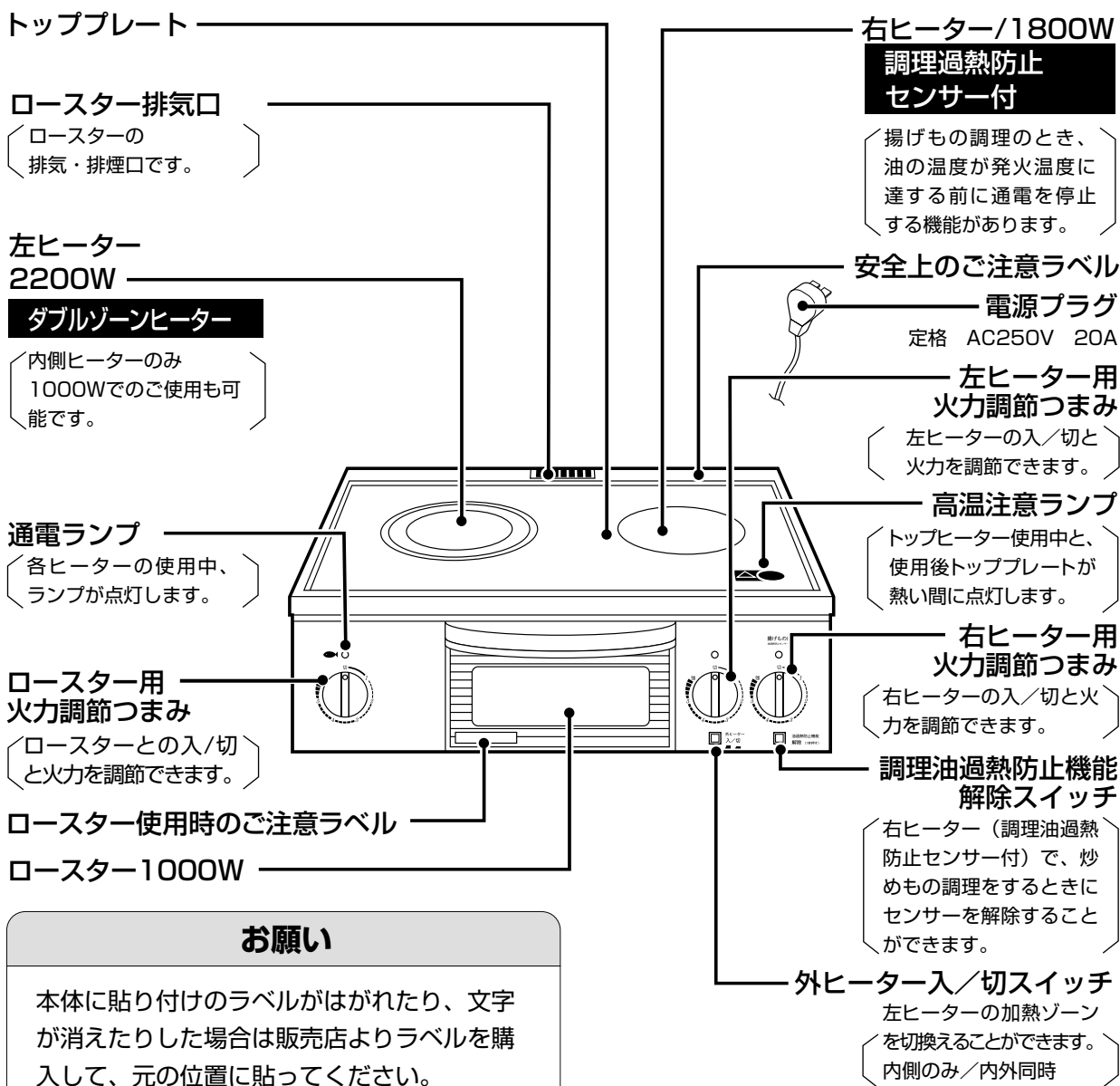
ヒーター全体を覆うような鉄板や焼網は使わないこと

器具が異常過熱して、故障の原因になります。



各部のなまえ

SRH-M226AT

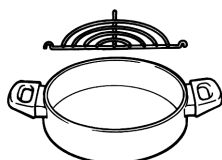


お願い

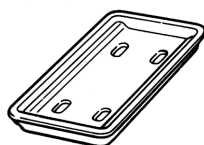
本体に貼り付けのラベルがはがれたり、文字が消えたりした場合は販売店よりラベルを購入して、元の位置に貼ってください。

■下記付属品が揃っていることを確認してください。

天ぷら鍋



ロースター受皿



ロースター焼網



ロースター用取っ手



上手にお使いいただくために

■使える鍋について

下図に示す適している鍋をご使用ください。

適さない鍋をご使用になると、効率が悪くなるだけでなく、ヒーターの入/切が生じることにより器具の保護のため温度センサーが作動し、湯が沸かなかったり調理がうまくできなくなることがあります。

適している鍋

材質	ステンレス・鉄・アルミ(鋳物)などの金属製のなべ。	
形状	●底の直径が 右ヒーター：17～22cm 左ヒーター（内側のみ使用時）：14～17cm 左ヒーター（内外同時使用時）：21～24cm	●底の形状が平らで厚手のなべが最適です。 中央部凹が1ミリ以下のものが適しています。

適さない鍋

材質	土なべ・打ち出しで作られたアルミや銅などのなべ。	
形状	●底の直径が 右ヒーター：18cm以下、25cm以上 左ヒーター（内側のみ使用時）：13cm以下、18cm以上 左ヒーター（内外同時使用時）：20cm以下、25cm以上	●凹凸の底のものは適していません。

使えない鍋

材質	●耐熱ホーロー以外のホーローなべ ●超耐熱以外のガラスなべ ●ガス用クッキングパン ●直火用魚焼き網	
形状	トッププレートとなべ底の間に密閉された空間ができ、異常加熱でトッププレートが割れる場合があります。 ●底が凹形のなべ ●大きすぎるなべ （底の径がヒーターの大きさより2cm以上） ●脚のついたなべ ●底の丸いなべ	厳禁 

トップヒーターの使いかた(共通の事項)

■火力調節について

- 火力調節は、ヒーターをつけたり消したりしておこないます。火力調節の目盛(無段階)が少ないほど消えている時間が長くなります。
- 火力調節はこまめにしてください。
- 調理の内容、目的にあった火力をお選びください。電気代の節約にもなります。

■火力と調理の目安

ヒーター		表示	1	2	3	4	5	強
左ヒーター (内外同時)	火 力	と ろ 火	弱 火		中 火		強 火	
	消 費 電 力	約220W	約330W~620W		約620W~1800W		2200W	
	調理の目安	保 温	煮 こ み		湯 沸 し		炒 め 物	
左ヒーター (内側のみ)	火 力	と ろ 火			弱 火		中 火	
	消 費 電 力	約100W~350W			約350W~800W		1000W	
	調理の目安	保 温			煮 こ み		湯 沸 し	
右ヒーター	火 力	と ろ 火	弱 火		中 火		強 火	
	消 費 電 力	約180W	約270W~500W		約500W~1500W		1800W	
	調理の目安	保 温	煮 こ み		湯 沸 し		炒 め 物	

■余熱について

- 火力調節つまみを「切」にしても、すぐにヒーターの温度が下がらず、しばらく高い温度を保ちます。この熱を上手に利用しましょう。
- 「ふきこぼれ」や「煮つめ過ぎ」しないよう、ガスコンロより少し早めに火力調節をしたり、火力調節つまみを「切」にしてください。電気節約にもなります。
- 強火料理のあとなら余熱でいり玉子やハンバーグソースなど上手に仕上がります。
中火、弱火調理のあとは汁ものの保温に利用できます。

■ヒーターの過熱防止機能について

- ヒーター使用中、お湯が沸騰近くなったり、炒めもの、揚げもの調理の場合は、火力が「強」でも、自動的にヒーターが切れたりついたりしますが、故障ではありません。
適さない鍋を使用のときは、その回数が多くなりますので、適した鍋をお使いください。

■切り忘れ防止機能について

- 使用開始から約1時間経過すると、切り忘れと判断して自動的にヒーターの通電が切られます。切り忘れ防止機能が働くと、通電ランプが点滅してお知らせします。継続してお使いになる場合は火力調節つまみを1度「切」にして、再度火力調節つまみを設定してください。

■やけどに注意(高温注意ランプについて)

- トッププレートは調理終了後も熱が残っています。高温注意ランプが点灯している間は、トッププレート、その周辺の金属部に触れないでください。(高温注意ランプが消灯しても、ヒーター一部に触り続けるとやけどします。)
- 高温注意ランプは、通電中および通電後もトッププレートが熱い間は点灯し、高温であることをお知らせします。
- 火力調節つまみを「切」にした状態でもトッププレートが熱い間は、高温注意ランプが点灯します。

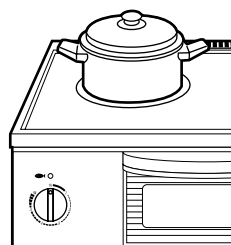
左ヒーターの使いかた(ダブルゾーンヒーター)

1

鍋を正しくのせます

■ヒーターの中央部にのせます

- 左ヒーターは内側のみ、内外同時通電が可能です。
発光部分の大きさにあった鍋をご使用ください。



2

通電をします

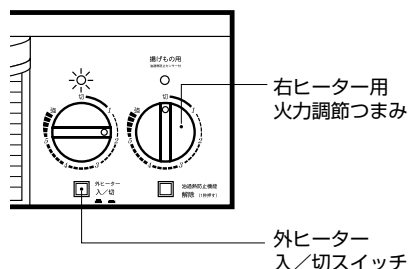
■使用する鍋の大きさに合わせて、加熱ゾーンの選択を行ないます。

- 外ヒーター入／切スイッチ：凹(ランプ消灯)のとき
→内側のみ通電します。
- 外ヒーター入／切スイッチ：凸(ランプ点灯)のとき
→内外同時通電します。

■火力調節つまみを回し(右回し)通電を開始します。

- 通電ランプが点灯し、ヒーターに通電します。

※右ヒーターとロースター使用中は、外側のヒーターは通電できません。内外同時通電中、右ヒーターとロースターを両方使用した場合は、自動的に外ヒーターは切れます。(どちらかを切ると再び外ヒーターに通電します)

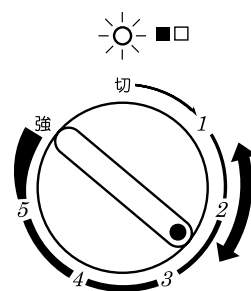


3

火力を調節します

■火力調節つまみで、ガスコンロと同じように火力の調節をします。

- つまみの位置によりとろ火から強火まで調節できます。(火力の目安は9ページ参照)
- つまみ「強」の位置でヒーターは最大火力になります。

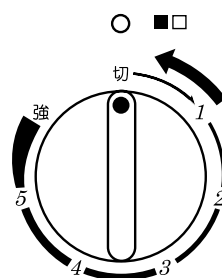


4

使用後は確実に「切」にします

■火力調節つまみは「切」にします(左回し)

- 通電ランプが消灯します。(確認してください。)
- 高温注意ランプは、ヒーター部がさめるまで点灯して、高温であることをお知らせします。



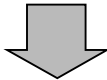
右ヒーターの使いかた(調理油過熱防止センサー付)

■お使いになる前に

- 右ヒーターには、調理油過熱防止センサーがついています。次のような場合は、自動的にヒーターの通電を停止します。
(通電ランプが点滅してお知らせします。)

状 態	処 置 方 法
揚げもの調理中 調理油が過熱し過ぎた場合	附属の専用天ぷら鍋で、調理油が異常過熱(おおよそ240～250℃)した場合、センサーが働き通電が停止します。
鍋を空焚きした場合	鍋を空焚きした場合や、水分を煮つめる料理(粉ふきいもなど)をおこなった場合も、センサーが働き通電が停止することがあります。
底が変形した鍋を 使用した場合	底が変形した鍋(特に凹状に変形)の使用で、鍋底とトッププレート間に空気層ができる場合、センサーが働き通電を停止することがあります。
炒めものを行なった場合	炒めもの調理の場合、空焚きと同じ検知をすることがあります。炒めもの調理をする場合は、あらかじめ調理油過熱防止センサーを解除してください。

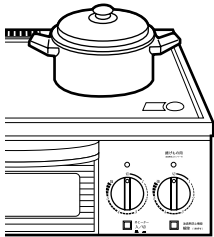
- 調理油過熱防止センサーを解除しても、空焼きに近い調理を行なった場合、センサー保護のため自動的に通電を止めます。



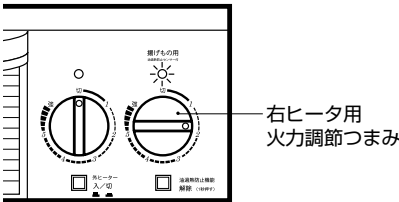
このような場合は、いったん火力調節つまみを「切」にして、ヒーターの温度が少し下がってから通電を開始してください。

■湯沸し、煮こみ調理を行なうとき

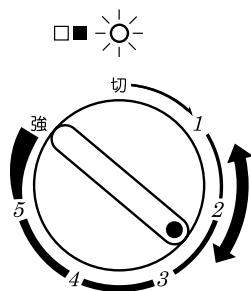
- 1** 鍋を正しくのせます。
■ヒーターの中央部にのせます。



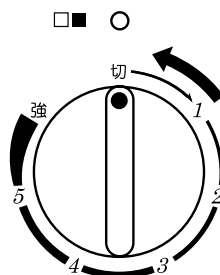
- 2** 通電をします。
■火力調節つまみを回し(右回し)通電を開始します。
●通電ランプが点灯し、ヒーターに通電します。



- ③ 火力を調節します。**
■火力調節つまみで、ガスコンロと同じように火力の調節をします。
- つまみの位置によりとろ火から強火まで調節できます。(火力の目安は、9ページ参照)
 - つまみ「強」の位置でヒーターは最大火力になります。



- ④ 使用後は確実に「切」にします。**
■火力調節つまみ「切」にします。(左回し)
- 通電ランプが消灯します。(確認してください。)
 - 高温注意ランプは、ヒーター部がさめるまで点灯して、高温であることをお知らせします。



警告

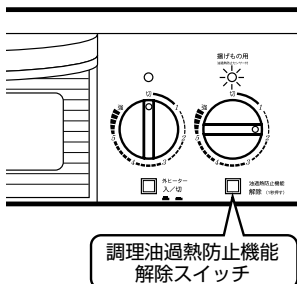
炒めもの調理から揚げものの調理(天ぷらなど)を続けて行なう場合、一度火力調節つまみを「切」にしてから行なうこと。

炒めもの調理から揚げものの調理を続けて行なうと、調理油過熱防止機能が解除されていて、万一油が異常過熱した場合は自然発火し、火災につながる恐れがあります。



■炒めものを行なうとき 調理油過熱防止機能を解除します。

- 操作の1・2・3の後に調理油過熱防止機能解除スイッチを1秒以上押します。
- 火力調節つまみを回してからでないと作動しません。
- 一度、調理油過熱防止機能を解除すると、火力調節つまみを「切」にするまで元には戻せませんので、続けて揚げものの調理を行なう場合は、一度火力調節つまみを「切」にしてから行なってください。



お願い

調理油過熱防止機能解除スイッチは、誤操作防止のため1秒以上押さないと作動しません。解除の際は必ず1秒以上押し続けてください。

揚げものの調理のしかた

守ってください

●右ヒーターを使用してください。

●付属の天ぷら鍋を使用してください。

警告

揚げものの調理をするときは、必ず付属品の天ぷら鍋を使用すること

油の正確な温度検知ができないため、万一油が異常過熱した場合、通電が停止せず、火災の原因になる恐れがあります。



付属の
天ぷら鍋を
使用する

揚げものの調理のときは、調理油過熱防止機能解除スイッチを押さないこと

調理油過熱防止機能を解除すると、万一油が異常過熱した場合、通電が停止せず、火災の原因になる恐れがあります。調理過熱防止機能を解除してしまったときは火力調節つまみを一度「切」にしてからご使用してください。調理油過熱防止機能解除スイッチのランプが消灯していることを確認してください。



センサー
解除しない

天ぷらなど油を使う調理中はその場を離れないこと

火災の恐れがあります。その場を離れるときは必ず火力調節つまみを「切」にして鍋などをヒーターからおろす。油が過熱すると火が入らなくても自然に発火し、火災の原因となります。



そばを
離れない

揚げものの調理は、必ず右ヒーターを使用すること

左ヒーターには調理油過熱防止機能はありませんので、万一油が異常過熱した場合、通電が停止せず、火災の原因になる恐れがあります。



天ぷらは
右ヒーターを
使用する

揚げものの調理は必ず右ヒーターを使い付属の天ぷら鍋を使用し、油の量は1kg使用すること

油の量が少量の場合や付属の天ぷら鍋を使用しない場合は、正確な油の温度が検出できず、発火して火災の原因になります。



油の量は
1kg

天ぷら油の廃油処理剤(凝固剤)を使用中に再加熱する場合は、その場を離れないこと

火災の恐れがあります。天ぷら調理をする場合と同様、油が過熱すると火が入らなくても自然に発火し、火災の原因となります。



そばを
離れない

⚠ 注意

鍋は必ず右ヒーターの中心にのせて使用すること

鍋をヒーター加熱ゾーンからはずれたところにのせて使用すると、センサーの正確な温度検知ができないため、万一油が異常過熱した場合、通電が停止せず、火災の原因になる恐れがあります。

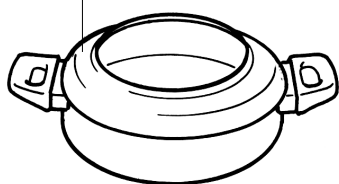


鍋は中心に
のせる

付属の天ぷら鍋に市販の油はねガードなどは使用しないこと

センサーの正確な温度検知ができなくなることもあり、火災の原因になる恐れがあります。

油はねガード



禁止

鍋底はいつもきれいにし、ゴミや異物をつけたままにしないこと

鍋底にゴミや異物がついていると、加熱効率が悪くなるばかりか、センサーの正確な温度検知ができなくなり、火災の原因につながる恐れがあります。



鍋底は
きれいに

他のヒーターやガスコンロなどで加熱した油を使用しないこと

センサーの正確な温度検知ができなくなり、火災の原因になる恐れがあります。調理油は必ず常温から加熱してください。



油は
常温から
加熱

付属の天ぷら鍋は、揚げものの調理以外には使用しないこと

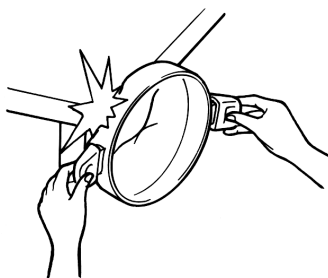
炒めものなどに使用すると鍋底が変形して、揚げものの調理時にセンサーの正確な温度検知ができなくなり、火災の原因につながる恐れがあります。



揚げもの使用
以外禁止

鍋底をたたいたりして変形させないこと

センサーの正確な温度検知ができなくなり、火災の原因につながる恐れがあります。



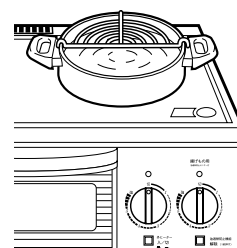
たたくな

■揚げものの調理のしかた(つづき)

1 付属の天ぷら鍋を正しくのせます。

■右ヒーターの中央部にのせます。

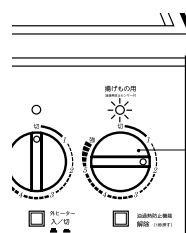
●油の量は、1kg(深さ約3cm)入れてください。



2 通電をします。

■火力調節つまみを回し(右回し)通電を開始します。

●通電ランプが点灯し、ヒーターに通電します。



右ヒーター用
火力調節つまみ

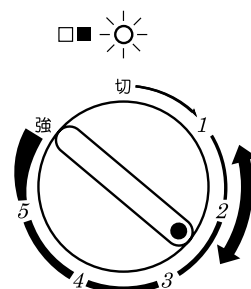
3 火力を調節します。

■火力調節つまみで、ガスコンロと同じように火力の調節をします。

●つまみの位置によりとろ火から強火まで調節できます。(火力の目安は、9ページ参照)

●つまみ「強」の位置でヒーターは最大火力になります。

●揚げものの調理の場合は、目盛り「4」～「強」の範囲で調節することが適当です。

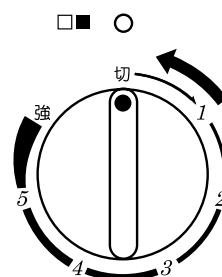


4 使用後は確実に「切」にします。

■火力調節つまみを「切」にします。(左回し)

●通電ランプが消灯します。(確認してください。)

●高温注意ランプは、ヒーター部がさめるまで点灯して、高温であることをお知らせします。



揚げものの調理のコツとポイント

●揚げかた

一度にたくさんの材料を入れると、油の温度が下がって、カラッと揚がりません。

少しずつ揚げましょう。

●ご注意

油の温度を200℃以上あげますと、ヒーターの通電が切れる場合があります。

ロースターの使いかた

ご注意

- 使用中や直後はロースターのガラス窓、ロースター排気口が熱くなります。
- 排気口の上に鍋などの取っ手がこないようにしてください。取っ手が熱くなりやけどすることがあります。

⚠ 注意

ロースターは長時間使わないこと

ロースターを長時間使用しますと庫内の過熱で魚から出た脂に引火することがありますのでご注意ください。

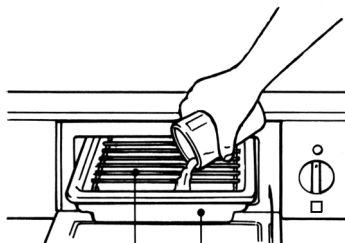


長時間禁止

① ロースター焼網をのせてセットします。

■ロースター受皿の凸部のところまで、必ず水を入れます。

- 煙が多く出たり庫内の汚れがひどくなります。
- 魚が乾燥します。

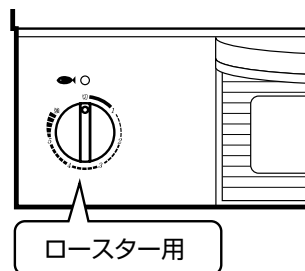


ロースター焼網 — ロースター受皿

② 通電・予熱をします。

- 1 ロースター用火力調節つまみを回すと通電ランプが点灯し、ヒーターに通電します。
- 2 目盛<強>で2～3分間予熱をします。

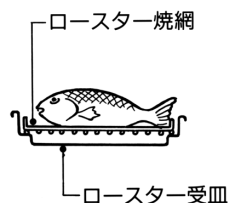
- 焼網をのせてカラ焼きしてください。
魚の乾燥が少なくなります。
- 予熱をすると魚などが焼網にこびりつきにくくなります。



③ 魚を焼きます。

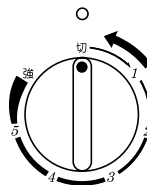
- 1 受皿に焼網を図のようにのせます。
- 2 魚の上面にほどよい焦目がついたら、ロースター受皿を引き出し、魚を裏返します。

- 目盛「強」で魚を焼いてください。



④ 焼きあがったら、確実に火力調節つまみを「切」にします。

- 通電ランプが消灯します。(確認してください。)



■切り忘れ防止機能について

- 使用開始から約30分経過すると、切り忘れと判断して自動的にヒーターの通電が切られます。切り忘れ防止機能が働くと、通電ランプが点滅してお知らせします。継続してお使いになる場合は火力調節つまみを1度「切」にして、再度火力調節つまみを設定してください。

■温度過昇防止機能について

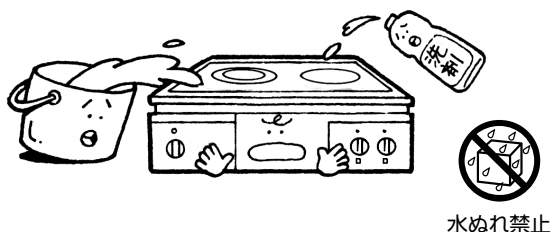
- 消し忘れなどで、ロースター内の温度が異常に上昇したときに、自動的にロースターヒーターの通電を停止する温度過昇防止機能が付いています。万一動作して通電が停止しても、温度が下がって来ると自動的に復帰して通電されます。

お手入れのしかた

⚠ 警告

水を流しての清掃は、絶対にしないでください。

洗剤や水がトッププレートの排気口部から器内に入りますと、故障、漏電、感電の原因となります。



お手入れの際、ベンジン、アルコール、シンナーなどは絶対に使わないこと

揮発性の油は引火して発火することがあり、大変危険です。



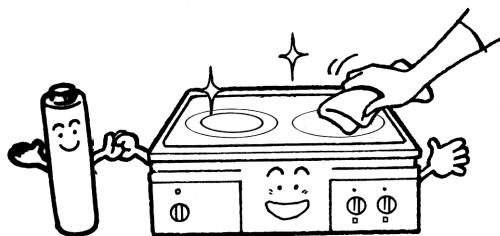
■お手入れは、火力調節つまみを「切」にし、高温注意ランプが消えてから行なってください。

トッププレート部は

- 使うたびに固くしぼったぬれぶきんでこまめにふいてください。
- 汚れのひどいときは、液体クレンザーを布につけてふきとってください。
- 専用洗剤のご使用をおすすめします。

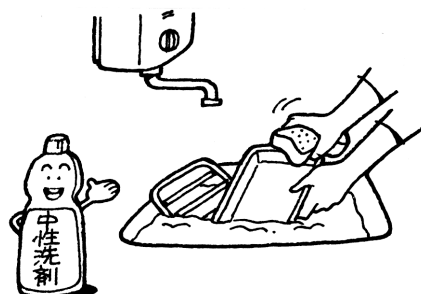
本体部は

- 中性洗剤に少量の水を加え、スポンジなどで汚れを落とした後、柔かい布でよくふいてください。金たわしやナイフなどの使用は避けてください。



ロースター受皿・焼網は

- 中性洗剤で洗った後、十分に水洗いします。



お願い

- ナイロンたわし、みがき砂、ドライバーの先などでこすると傷がつきますので使わないでください。

こんなときは（修理を依頼される前に）

- 製品を取り外して、ご自分で修理されることは危険ですから、絶対にしないでください。
- 故障かな？と思ったときは、次の点をお調べください。

現 象	調べるところ
全部のヒーターが入らない	●停電していませんか。 ●専用回路のブレーカーが切れていませんか。
ヒーター部での調理に時間がかかる 調理のできあがりが悪い	●鍋底の変形や異物の付着はありませんか。 ●ヒーターに適した鍋を使用しましたか。 →8ページを参照してください。
右ヒーターで揚げものの調理中、ヒーターが自動的に切れる	●付属の天ぷら鍋を使用しましたか。 →付属の天ぷら鍋以外をしますと調理中でもセンサーが働いて切れる場合があります。 →センサーが働かず、油が過熱し火災になる場合もあります。 ●天ぷら鍋をヒーターの中心におきましたか。 →鍋が中心からずれますと調理中でもセンサーが働いて切れる場合があります。
右ヒーターで炒めものの調理中、ヒーターが自動的に切れる	●火力調節つまみを回した後、調理油過熱防止機能解除スイッチを1秒以上押してセンサーを解除しましたか。 →解除しても空焼きに近い調理ですと、センサーが働く場合があります。
ロースターが調理途中で切れる	●ロースター受皿に水を入れましたか。

現 象	故障ではありません
ヒーターが周期的に切れたり、ついたりする	●適さない鍋を使用した場合におこります。 ●火力調節つまみが「強」以外のときは、周期的に入・切しヒーターの火力を調節しています。 火力調節つまみが「強」のとき、トッププレートの温度のあがり過ぎを防止するためです。
自動的にヒーターが切れる	●1時間以上連続して通電すると、切り忘れ防止機能が働いて自動的に通電を停止します。（ロースターは30分）
左ヒーターの外側が自動的に切れる	●右ヒーターとロースターを同時に使用した場合、総電力量の関係で左ヒーターの外側は、通電できません。
右ヒーターが入らない	●油過熱防止機能を解除して炒めものを行なった直後は温度センサーが高温のため、通電できない場合があります。 しばらくお待ちください。
ヒーターやロースターを使ったとき、煙やにおいが出た	●部品には油が付着している場合があります。初めてヒーターやロースターを使うと、その油が焼けて煙やにおいが出ることがありますが、問題ありません。

- 上表項目をお調べになっても症状が直らない場合は、お買い上げの販売店または、当社にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書について

必ず、お買い求め先からお買い上げ日・お買い求め先名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、「修理を依頼されるまえに」に従ってご確認いただき、なお異常のあるときは、お使いになるのをやめ、専用回路のブレーカーを「切」にし、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	クッキングヒーター
形名	SRH-M226AT
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、出張修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合にご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または、当社にご相談ください。
- 転居や贈答品などでお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合は、当社にご相談ください。
- 一般家庭用以外（たとえば業務用など）にお使いになったときの故障は、保証期間中でも原則として有料修理となります。

仕 様

形 名		SRH-M226AT		ロースター	消費電力	1000W
定 格		単相200V-4000W			火力調節	100～1000W相当 無段階調節
大 き さ		幅598×奥行き450×高さ180mm			ヒーターの切り換え	・左ヒーターの内側と内外との切換え ・右ヒーターとロースターを同時使用の場合は、 左ヒーターの外側は自動的にOFFします。
重 さ		12kg				
ヒーター	右	直 径	175mm			コード 差し込みプラグ 安全機能 切り忘れ防止 やけど注意 天ぷら火防止
		消費電力	1800W			
	火力調節	180～1800W相当 無段階調節				
	左	直 径	210mm (内側140mm)			
		消費電力	2200W (内側1000W)			
火力調節		220～2200W (100～1000W) 相当 無段階調節				
ロースター		内 寸	幅210×奥行320×高さ90mm			2極・接地極付 20A・250V
						ヒーター：通電操作後約60分で自動OFF ロースター：通電操作後約30分で自動OFF
						トッププレートが高温の間ランプ点灯
						右ヒーターに調理油過熱防止装置

無料修理保証書

品名	※ 形式		
クッキングヒーター	SRH-M226AT		
保証期間	本体： 1 年		
※ お買い上げ日	平成	年	月 日
※ お客様	ご芳名 様		
	ご住所 〒		
	電話 ()		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご
確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為により故障・損傷した場合。
 - (ハ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷ならびに自然損耗。
 - (ホ) 指定外電圧の使用による故障および損傷。
 - (ヘ) 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ト) 本書のご提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (リ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に、下記記載内容にもとづき、お買い上げ販売店が無料修理を行なうことを、お約束するものです。

お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。

※販売店	住所・店名
	電話 ()

本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan
(裏面をご覧ください)

三化工業株式会社

本社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 東京中央ビル
電話 03(3239)1819(代) FAX 03(3234)2532

3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 - この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保障期間内のサービスおよびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
 - 保障期間後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●長年ご使用のハイグラストップの点検をぜひ！



愛情点検

このような
症状は
ありませんか。

- 本体が異常に熱い。
- コードや差し込みプラグが異常に熱い。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、スイッチとブレーカーを切って、販売店にご連絡を…。



SANKI 三化工業株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4丁目4番8号 東京中央ビル
TEL.03-3239-1819 (代) FAX.03-3234-2532

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL

お客様へ…おぼえのために、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。